

11月定例県議会 一般質問

家計と中小企業を直接応援し、地域経済の再生を

安倍政権の「アベノミクス」で大企業の利益は史上最高水準ですが、労働者の賃金は伸び悩んで消費は冷え込んでいます。大企業の内部留保は、初めて 300 兆円を突破。大企業を応援すればやがて国民を潤すという「トリクルダウン」政策の破たんは明らかです。

ふしき県議は「家計と中小企業を直接応援する政治」に切り替えてこそ、地域経済の再生がはかれると強調しました。

秋田県で行っている住宅リフォーム助成制度は、16 億円の予算で 14 倍もの経済効果です。奈良県では公契約条例をつくり、公共事業の建設労働者の賃金を下支えする取り組みが進んでいます。ふしき県議は先進例を紹介し、県として実施することを求め、正社員の採用に奨励金をつくるなど中小企業への支援を提案しました。

滋賀県は毎年総額 10 億円を超える大企業への補助金をしています。ふしき県議は、そうした大企業が、これまで数百人もの派遣切りをおこなってきたことを告発。「(帝国バンクの調査で)大企業進出の 1 番の条件は交通の利便性で、自治体の支援は 8 番目という低さだ」とし、大企業への補助金をやめるよう求めました。



非正規から正規雇用への取り組みを!!

労働者全体に占めるパートや派遣など非正規雇用の割合は、4割になりました。非正規社員の賃金(月額)は、20 万円未満が 78.2%にも及び、地方自治体としても、一刻も放置することができない問題です。

ふしき県議は、県内の労働者の実態を紹介。非正規から正規雇用の流れをつくること、「生涯派遣」の改悪労働者派遣法の抜本改正を求めました。また労働法制の規制緩和とブラック企業の増加は、表裏一体の関係にあるとし、ブラック企業・ブラックバイトの実態調査をおこない、悪質な企業の公表を行うことを求めました。

労働者派遣法の抜本改正を

告発
知事に迫る!

12年間ずっと派遣 年収100万円 39歳女性

草津のパナソニック工場で派遣社員として働く 39 歳の女性 A さんは、12 年間ずっと派遣だということです。工場が閉鎖でやめなければならなかったり、請負になったり、『消費税があがってもずっと時給 1000 円です。自分の将来が見えない』ということです。月の収入は 10 万円にも満たないし、年収は 100 万円をきり、彼女の話では自分の職場のほとんどが派遣社員で同じ待遇だということです。こんな働き方でいいのかと知事に迫りました。

ブラック企業の根絶を

残業月210時間超で過労死 27歳男性

昨年、居酒屋チェーン「日本海庄屋」石山店で過労死を起こした株式会社「大庄」が「ブラック企業大賞」にノミネートされました。2007 年、急性心不全で過労死した 24 歳の F さんは、朝 10 時から深夜 1 時まで働き、残業が 210 時間を越える月もあったということです。F さんは基本給に過労死ラインを超える 80 時間の残業分も含まれ、最低賃金にも満たない「恒常的な長時間労働」と認定されています。ふしき県議は、「息子にやめておけ」といえなかったことを悔やまれるというお父さんの思いを考えますと、過労死とブラック企業をなくすことが F さんやご家族の思いにこたえることだと訴えました。

生活相談会(無料)をおこなっています

第1・3月曜日 午後3時~5時

ふしきみちよ事務所にて ※秘密厳守

2015年12月15日 発行:ふしきみちよ事務所
大津市末広町4の4 Tel・Fax 077-523-0334

Eメール mfushiki@beach.ocn.ne.jp ふしきみちよ公式ホームページ <http://fusiki.huu.cc/>